

第2回九段坂公園整備に関する地元協議会議事要旨

日 時：平成29年6月13日（月）午後4時から5時

会 場：富士見区民館

出席委員：6名（九段一丁目～九段四丁目町会、九段商店街振興組合、九段環境整備協議会
靖國神社）

事務局：3名（麴町地域まちづくり課長、景観・都市計画課長、道路公園課長）

議事概要

(1) 前回意見のおさらい

●議事要旨を説明

⇒内容については了解

(2) 九段坂公園における課題解決に向けた方向性

① 歩道橋付近の歩行者導線の確保

(ア) 横断歩道橋について

●バリアフリー施設（スロープ、エレベータ）等の検討結果を説明。

⇒エレベータは他の場所でもあまりきれいなものはなく箱物感が大きい。設置するべきではない。また、スロープも公園敷地や周辺への景観への影響が大きいこともわかった。

(イ) 実現可能な歩行者導線

●横断歩道設置検討と公園内通路の確保について説明。

⇒平面通行が一番理想的。横断歩道の検討は進めてほしい。将来的には、歩道橋の撤去につながればと思う。また、濠側通路が武道館混雑時の抜け道等として使用できる。

② 公園内における既存設置物について

(ア) 銅像等の扱いについて

●常燈明台を靖国神社移設するのは難しく、残置し表示の工夫やライトアップ等の検討を行う。

●品川弥二郎像は区の公園施設であるが、隣接する植栽地への移設は道路敷地であり困難。また、代替地の確保も困難な状況であることを確認した。

●大山巖像は公園開設時に財務省との賃借契約の中で区が管理するもの。したがって、公園管理されているうちは管理の必要がある。ただし、顕彰碑はこの限りではないことを確認。安全面での検証をしたうえで、園内での移動や顕彰碑について撤去並びに、表示方法等の検討を行う。

⇒銅像や園外への移設は難しい状況であることは理解できるが、公園内でかなりの面積を占めている。通路等の確保を優先し、圧迫感を軽減のため、可能な限り園内移動等を検討してはどうか。

③ 公園内の機能・施設

(ア) 千鳥ヶ淵緑道と九段坂公園をつなぐ空間整備

- 公園と緑道をつなぐ空間（消防署跡地）は広い空間として整備を考えている。そのため、緑道入口付近にある樹木や案内板については、移設等を検討している。

⇒公園と緑道と連続した広場空間を確保することは進めてもらいたい。

(イ) トイレについて

- 常設の公衆トイレを設置する場合、現在のトイレよりも大型のものになると予想される。公園を中央で分断することになり現在とあまり雰囲気が変わらない恐れがある。また、北の丸公園周辺の玄関口となる場所でもあり、トイレの設置には賛否ある。

当面はオリンピックを想定した中で、一体的な整備、空間整備を優先し、北の丸公園周辺の窓口となる場所でもあり、最小限の仮設的なものを設置した上で 2020 東京大会以降の扱いを考えていきたい。

また、現行トイレにも傾きがあり、公園再整備にあたって地盤の調査をしたい。

⇒トイレは町会の中でも必要という声がある。しかし、公園の空間整備を考えると「仮設」も視野に入れて検討してほしい。また、仮設にしても、貧相なのにならないようなものにしてほしい。

(ウ) 植栽・樹木について

- 整備に際して地盤や根の状況にもよるが、樹木・植栽の処理は剪定整理を基本としたいと考えている。

⇒すべて、なくすことはできないと思うが鬱蒼としているところは、基本的に解消してもらいたい。

(3) 今後のスケジュール

- 次回は、7月上旬に第3回協議会・説明会を開催したいと考えている。

⇒了解した。